


ほっかいどうタンポポ ——プロフィール——

しょうがいのある子どもとその家族でつくる仲間です。

1993年一人の医師と、数家族から始まりました。

その基本は、子ども達の能動的展開と家族達の相互扶助、街づくりです。

ほっかいどうタンポポは、しょうがいのある全ての子ども達の潜在能力を引き出し、健常者としょうがい者が共に助け合い、子ども達の生活空間を広げ、スムーズに社会参加できる、環境づくりをして、全ての人々が共存しやすい社会づくりを目的としています。会の活動には会員自ら積極的に参加し、決して周りに頼りきりにならないことが基本です。



海とか山とか
連れて行きたいね!!

しょうがいがあるがゆえに、外出しづらい、運動不足になる、家にこもりがちになる、一番心配なのは人とのコミュニケーションが取りにくくなることです。これらの苦悩を抱えて、一家族でできることは限られていたのです。



じゃあ、どうしよう？

ならば、大勢なら何かできるだろう、一つでも多くのことを子ども達に体験させてやりたい、そんな親達の気持ちが受け継がれています。

こどもと遊びこどもに学ぶ
おとな変われば町変わる
みんな同じ人間だべや

連絡先



ほっかいどう
タンポポ
ご案内

